

アジアバイオメトリクスフォーラム2006が北京で開催された

2006年10月30日および31日の両日、中国科学院自動化研究所(中国 北京)においてアジアバイオメトリクスフォーラム(ABF)2006が開催された。ABFは2001年9月にJAISAバイオメトリクス部会の呼びかけで、アジアにおける市場状況の共有と国際標準活動の連携を強化する目的で設置された。その後毎年1回各国持ち回りで開催されている。今回初めて中国で開催された。約70名ほどの参加があった。日本からは9名、韓国7名、シンガポール2名、台湾1名の各国代表の参加があった。30日は講演会が開催され、日本からNTTデータ、日立製作所、東芝ソリューション、静岡大学による発表があった。韓国からは5件、中国4件、台湾、シンガポールは各1件の発表があった。31日には今後のABFのあり方に関し、各国の幹部メンバーが集まり討議した。中国からアジアバイオメトリクスコンソーシアムの設置の提案があり、継続的に審議することになった。次回は2007年5月にシンガポールで開催となった。プレゼンテーション資料などは会員ページで公開されている。(BSC議長 瀬戸洋一)